

## 第 34 回日本臨床化学会関東支部総会・学術講演会

■日 程：2026 年 7 月 11 日（土）12:50～17:25

■会 場：東京科学大学 湯島キャンパス 3 号館 3 階 医学科講義室 2

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45（TEL：03-5803-5383）

■開催形式：現地開催

■参加費：会員：無料※，非会員：1,000 円（学生・初期研修医は無料）

※2026 年度 関東支部運営費（2000 円）をお支払い済みの方のみです。

当日会場受付にて、現金にてお支払い可能ですので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

テーマ 『臨床化学を創る“楽しさ”』

☆プログラム☆

1. 総会・分科会報告：12:50～13:20

2. 開会の挨拶：13:25～13:30

3. 若手ワークショップ：13:30～14:30

「臨床化学検査における医療安全 ～検査プロセスから考えるリスクマネジメント～」

司会：吉川 直之（東京大学医学部附属病院 検査部）

小林 麻里子（北埼玉医師会立メディカルセンター）

「日常業務における医療安全について ～Pre-analytical phase に潜むリスクとその対策～」

演者：堀口 瑞姫（東京都立小児総合医療センター 検査科）

「臨床化学検査における分析過程の安全管理 『Analytical phase の精度保証と異常値対応』」

演者：河野 正臣（新東京病院 臨床検査部）

「検査結果報告における安全管理 『Post-analytical phase のリスクとパニック値対応』」

演者：松林 秀弥（国立病院機構 埼玉病院 臨床検査科）

「検査室全体で取り組む医療安全文化 — 個人依存からシステム安全へ —」

演者：土筆 智晶（北里大学病院 臨床検査部）

4. 共催セミナー（株式会社シノテスト）：14:40～15:40

座長：吉田 博（東京慈恵会医科大学 臨床検査医学講座）

「人間が生きるために必要な亜鉛 -生体内における亜鉛の役割、そして多彩な症状を呈する亜鉛欠乏-」

演者：加藤 大介（株式会社シノテスト マーケティング部門 企画部企画 2 チーム）

「血清亜鉛測定の内導入と臨床検査室の役割」

演者：兼松 健也（順天堂大学医学部附属 順天堂東京江東高齢者医療センター 臨床検査科）

5. シンポジウム「現場から生まれた新技術」：15:50～17:20

座長：末吉 茂雄（日本栄養大学 栄養学部）

「血糖検査用採血管の改良」

演者：久米 幸夫（東京大学医学部附属病院 検査部）

「血清アルブミン BCP 改良法の開発」

演者：村本 良三（元・埼玉医科大学 保健医療学部）

6. 閉会の挨拶：17:20 – 17:25

■学会事務局：東京科学大学 大学院医歯学総合研究科 臨床分析・分子生物学分野

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45 3 号館 16 階

事務局長：吉本 明

TEL：03-5803-5383

■運営事務局：株式会社 CLeF

〒710-0253 岡山県倉敷市新倉敷駅前 3 丁目 95

TEL：086-454-6190, FAX：086-454-6192, E-mail：jslm-kk37@c-lef.co.jp